

平成 25 年 12 月 3 日

各 位

株式会社 北洋銀行
(コード番号 8524 東証第 1 部・札証)

「2013 年度中間期インフォメーション・ミーティング」の実施について

当行では、本日、下記のとおり機関投資家向け IR 説明会「2013 年度中間期インフォメーション・ミーティング」を開催しましたのでお知らせ致します。なお、説明資料は別添の通りです。

記

日 時 平成 25 年 12 月 3 日(火)13:30～14:30

会 場 ベルサール八重洲
(東京都中央区八重洲 1-3-7)

出席者 取締役頭取 石井 純二
取締役経営企画部長 藤井 文世

以 上

第3回

インフォメーション・ミーティング

(2013年度中間決算・2013年度業績予想)

2013年12月3日



(東証第一部・札証:8524)

Contents

1. 2013年度中間決算ハイライト

- (1) 損益の状況
- (2) 貸出金・預金の状況
- (3) 預貸金利鞘の状況
- (4) 信用コスト・不良債権の状況
- (5) 有価証券の状況
- (6) 経営強化計画の状況

2. 北洋銀行の中長期経営ビジョン ～トップ・メッセージ～

- (1) 北海道の可能性
- (2) 北洋銀行の強み
- (3) 食と農業
- (4) 観光
- (5) 再生可能エネルギー
- (6) PFI
- (7) 個人のお客様へのコンサルティング
- (8) IT化、効率化の推進

3. 資本政策

- (1) 自己資本の状況と公的資金の返済
- (2) 配当方針

(ご注意事項)

- 2012年10月1日に持株会社「札幌北洋ホールディングス」と「北洋銀行」は「北洋銀行」を存続会社として合併いたしました。なお、本資料の2012年度第2四半期（中間期）決算までの「連結」に関する計数は「札幌北洋ホールディングス」の数値を表記しております。
- 「北洋銀行」と「札幌銀行」は2008年10月14日に「北洋銀行」を存続会社として合併しました。合併以前の「単体」に関する計数は、特にことわりのない場合、北洋・札幌両行単体計数の合計値を計上しております。
- 資料には当行グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、予想と異なる結果となる可能性があることにご留意ください。
- 当行以外の金融機関に関する情報は一般に公知の情報に依拠しております。
- 表示金額は特にことわりのない場合、表示金額未満を切り捨てております。

1. 2013年度中間決算ハイライト

(1) 損益の状況



貸出金利息の減少等により、連結コア業務純益は前年比△8億円。
前年計上された株式等の償却が大幅に減少したことに加え、国債売却益を計上したことから
有価証券等関係損益が増加し、中間純利益は前年比+105億円となった。

(単位:億円)

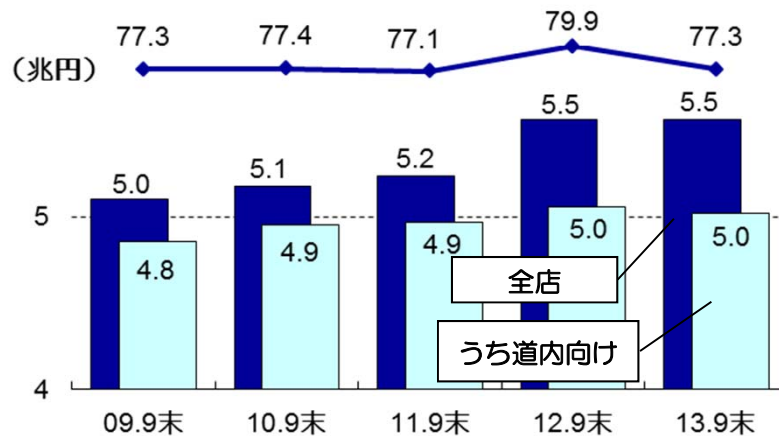
	11.9期	12.9期	13.9期					14.3期 予想
				前年比	コメント	当初計画	計画比	
連結コア粗利益	568	561	553	△ 7		570	△ 17	
資金利益	459	458	441	△ 17				
貸出金利息	415	397	370	△ 27	銀行貸出金利息△27 (うち残高要因+5、利回要因△32)			
有価証券利息配当金	74	87	94	6	銀行有価証券利息配当金+8 (うち残高要因△10、利回要因+18) ⇒利回要因には投信解約損益+17を含む			
預金等利息(△)	16	12	10	△ 1	銀行預金等利息△1 (うち残高要因+0、利回要因△1)			
役員取引等利益	93	89	97	7	銀行役員取引等利益+7 (うち投信・保険手数料+8)			
その他業務利益	15	13	15	1				
経費(臨時処理分を除く)	392	384	385	0		392	△ 7	
うち 銀行人件費	152	151	152	0				
うち 銀行物件費	202	194	197	3	システム関連経費増加			
うち 銀行税金	31	30	27	△ 3	消費税減少			
連結コア業務純益	175	177	168	△ 8		178	△ 10	373
信用コスト(△)	△ 17	26	32	5	北洋銀行+14 その他グループ会社△8	72	△ 40	
有価証券等関係損益	31	△ 56	74	130	国債等債券関係損益+1 株式等関係損益+129			
経常利益	232	98	206	108	臨時費用として退職給付費用が前年比10 億円増加	99	107	340
中間純利益	174	70	175	105		78	97	285

1. 2013年度中間決算ハイライト

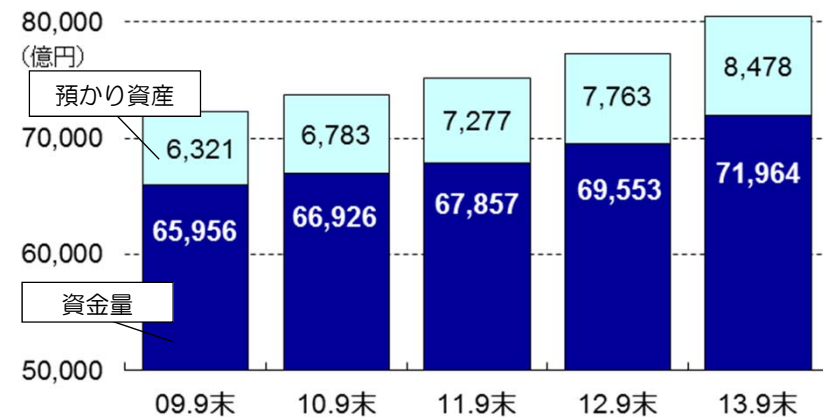
(2) 貸出金・預金の状況

貸出金は個人ローンが増加したが、中小企業・地公体が微減。
資金量と預かり資産は順調に増加。

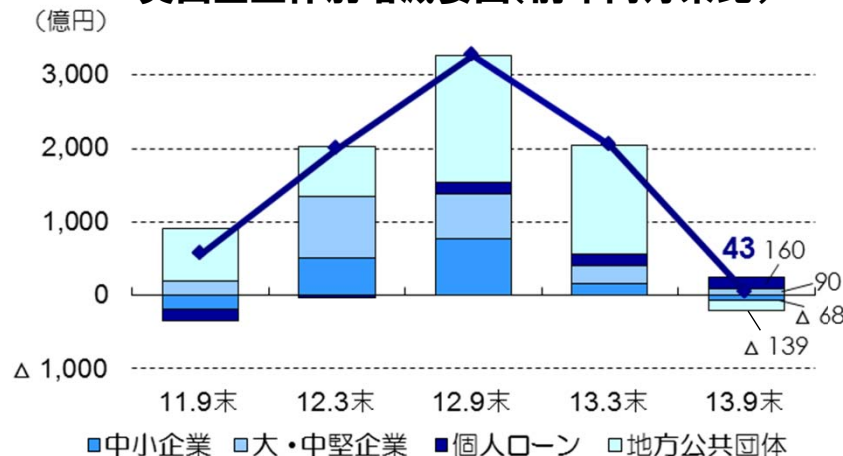
【北洋銀行】 貸出金残高と預貸率



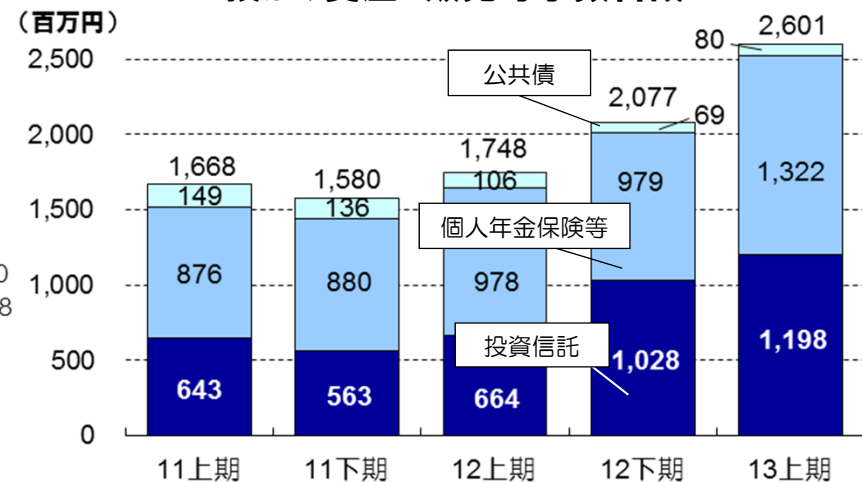
資金量と預かり資産(投信+公共債+個人年金保険等)



貸出金主体別増減要因(前年同月末比)



預かり資産 販売等手数料額



1. 2013年度中間決算ハイライト

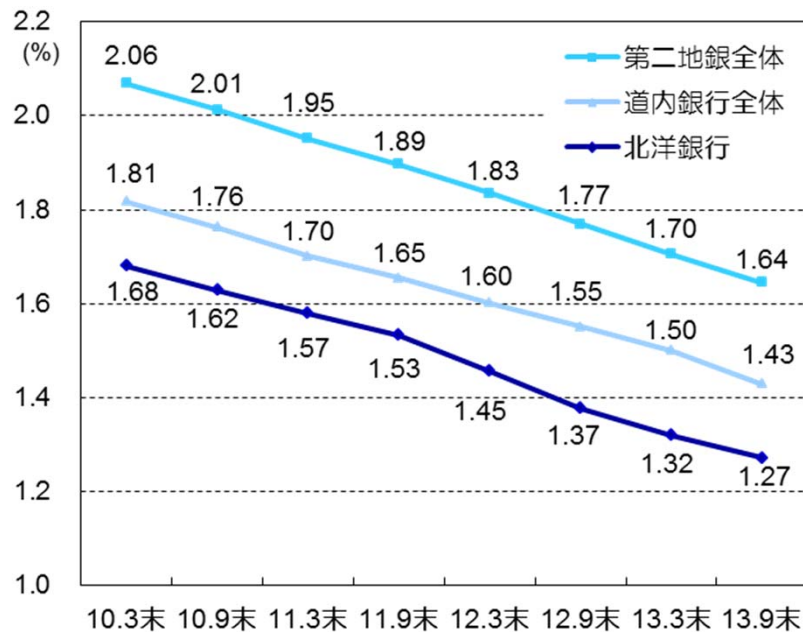
(3) 預貸金利鞘の状況



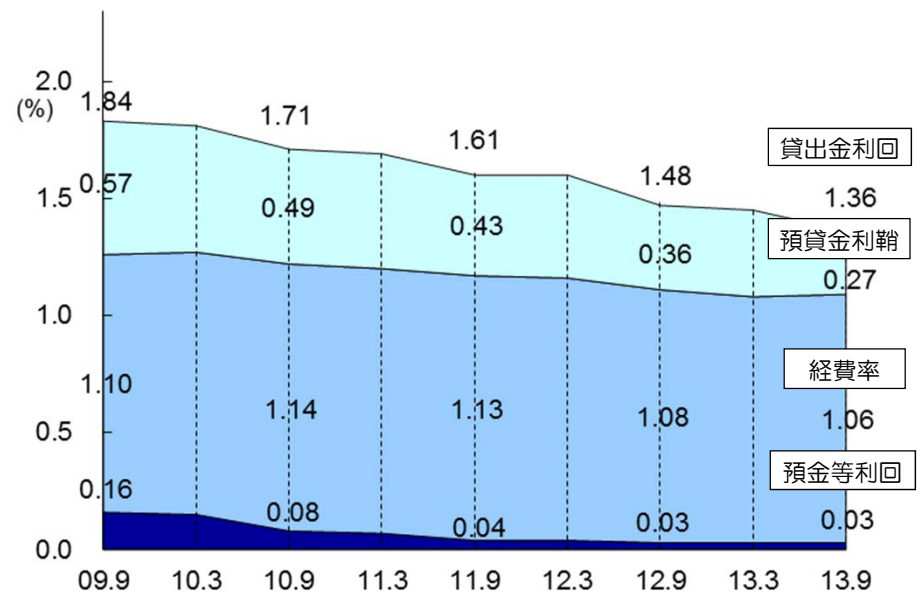
市場金利低下の影響等により、貸出金利回は前年同期比0.12ポイント低下。
 預貸金利鞘は、経費率の低下等により、前年同期比0.09ポイントの低下に留まる。

【北洋銀行】

月末貸出約定平均金利推移



預貸金利鞘



預貸金レート差
 13.9期 1.33%
 (前年同期比△0.12p)

1. 2013年度中間決算ハイライト

(4) 信用コスト・不良債権の状況



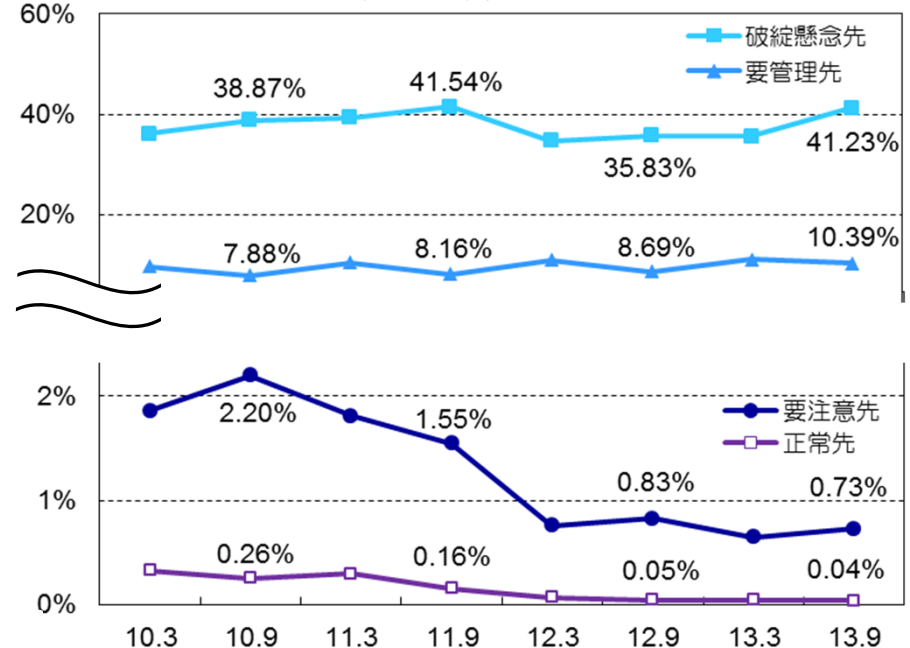
13.9末の信用コストは32億円と依然低水準。新規倒産は落ち着いているが、昨年大口回収があったことの反動や貸倒実績率の変動もあり、昨年同期比で5億円の増加。

【北洋銀行】 信用コストの構成

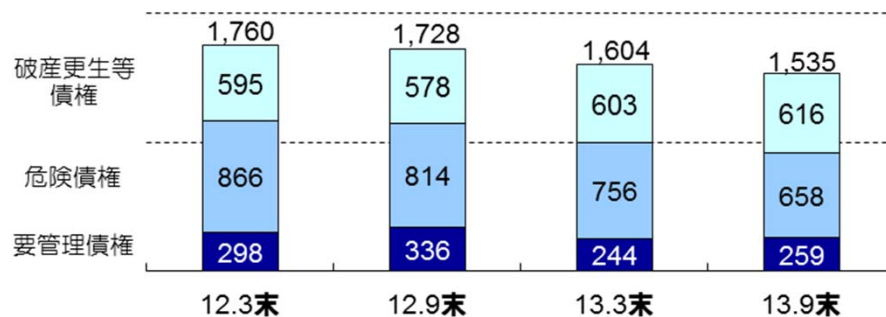
(単位: 億円)

	11.9末	12.9末	13.9末	前年比
新規倒産	11	24	5	△ 19
ランクダウン	57	31	30	△ 1
最終処理	0	0	0	0
担保価値下落	10	6	1	△ 5
ランクアップ	△ 5	△ 5	△ 5	0
回収等	△ 38	△ 29	△ 16	13
貸倒実績率の変動	△ 72	△ 15	10	25
銀行部門計	△ 36	12	26	14
その他の子会社	19	14	6	△ 8
連結合計	△ 17	26	32	5

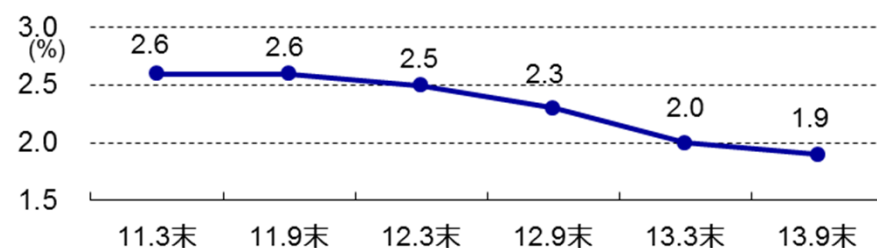
【北洋銀行】 貸倒実績率の推移



【北洋銀行】 開示債権推移



【北洋銀行】 開示債権比率(部分直接償却後)



1. 2013年度中間決算ハイライト

(5) 有価証券の状況

長期国債の売却によりその他有価証券残高は減少。
 評価損益は市況の回復により株式関連を中心に増加、13.3末比で+138億円となった。

【その他有価証券の内訳（単体ベース）】

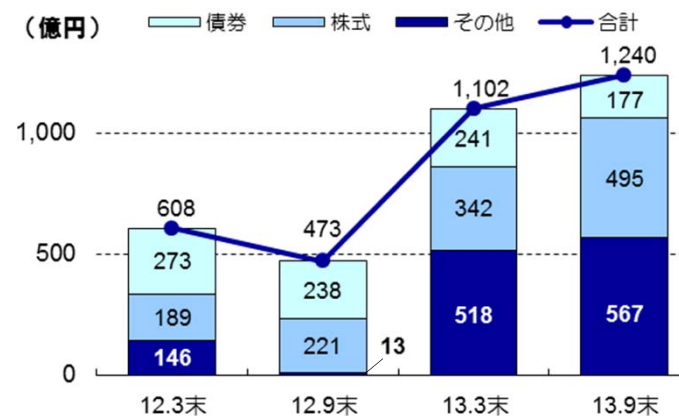
(億円)

	12.9末		13.3末		13.9末			
	取得原価	評価損益	取得原価	評価損益	取得原価	13.3末比	評価損益	13.3末比
債券	11,204	238	11,224	241	10,246	△ 978	177	△ 63
株式	497	221	596	342	591	△ 4	495	152
その他	2,521	13	2,695	518	2,288	△ 407	567	49
国内株式投信・ETF	718	△ 24	706	247	636	△ 70	360	112
外国債券・外債投信	1,410	△ 47	1,597	13	1,368	△ 229	△ 2	△ 15
外国株式投信・ETF	168	35	168	83	60	△ 107	60	△ 22
その他	223	49	222	173	222	0	149	△ 24
合計	14,223	473	14,517	1,102	13,127	△ 1,390	1,240	138
日経平均株価（円）	8,870		12,397		14,455			
新発10年国債利回り（%）	0.765		0.560		0.680			

その他有価証券残高推移（取得原価ベース）



その他有価証券評価損益推移



1. 2013年度中間決算ハイライト

(6) 経営強化計画の状況



経営強化計画は速報ベースで「業務粗利益経費率」「中小企業信用供与額」「経営改善支援等取組先の割合」について目標を達成。

資金利益の減少などにより「コア業務純益」が計画を下回ったほか、総資産が増加したことから「中小企業信用供与額の総資産に対する割合」も計画未達となった。

	2011.3末	2013.9末 (速報値)			
	計画の 始期	計画	速報値 (注4)	計画比	達成状況
コア業務純益 (億円)	317	159	150	△9億円	×
業務粗利益経費率 (%) (注1)	55.72	54.61	50.7%程度	△3.9%程度	○
中小企業信用供与額 (億円)	18,312	18,612	18,900程度	+270億円 程度	○
中小企業信用供与額の 総資産に対する割合 (%) (注2)	24.81	24.85	24.3%程度	△0.5% 程度	×
経営改善支援等取組先の 割合 (%) (注3)	2.41	2.63	3.4%程度	+0.8% 程度	○

注1：業務粗利益経費率＝経費（除く機械化関連経費）／業務粗利益

注2：中小企業信用供与額の総資産に対する割合＝中小企業信用供与額／総資産

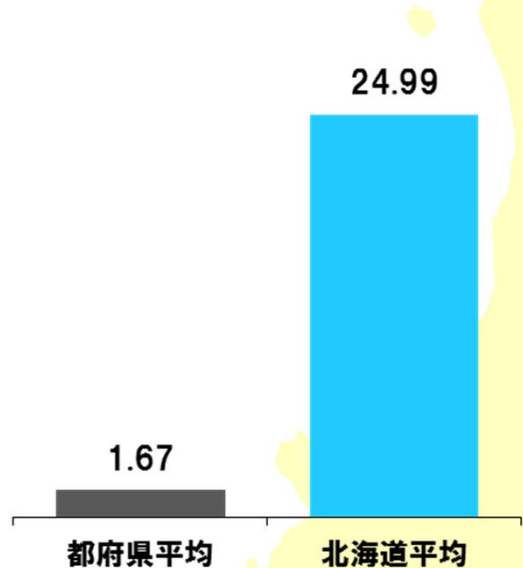
注3：経営改善支援等取組先の割合＝経営改善支援等取組先数／取引先企業総数

注4：確定値ならびに取組みの詳細については、金融庁への報告後、速やかに公表いたします。

(1) 北海道の可能性

食・農業

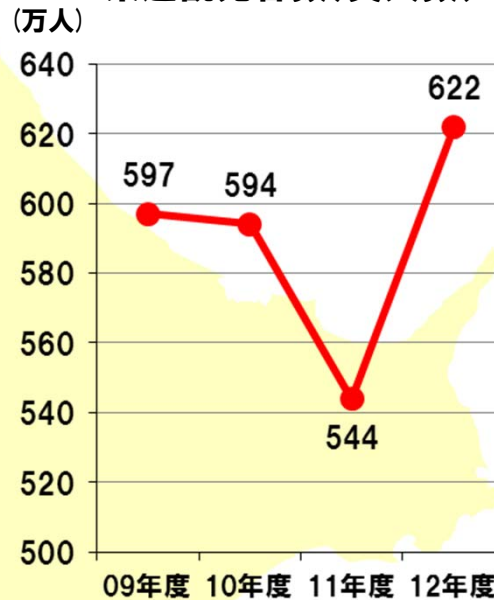
一経営体当たり経営耕地面積
(平成24年、単位:ha)



※農林業センサス、農業構造動態調査
(農林水産省統計部)

観光

来道観光客数(実人数)



※北海道経済部産業局

再生可能エネルギー

都道府県別再エネ設備認定状況
認定出力ランキング

都道府県名	認定出力 (千kW)
1 北海道	2,315
2 茨城県	1,376
3 福島県	1,261
4 鹿児島県	1,222
5 大分県	1,073
6 千葉県	943
7 岡山県	922
8 兵庫県	857
9 福岡県	829
10 三重県	812

※資源エネルギー庁データより北洋銀行作成
(H24.7からH25.7までの固定価格買取制度
認定状況)

地元根差した地域金融機関として、
北海道の可能性を生かしていくお手伝いに注力

2. 北洋銀行の中長期経営ビジョン ～トップメッセージ～

(2) 北洋銀行の強み



強固な顧客基盤

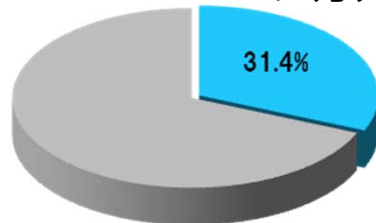
- 2万4千社以上※の企業のメインバンク
(全国5位、地銀1位)

※2013年10月末現在。帝国データバンク調べ。

	銀行名	メイン企業数
1	三菱東京UFJ	103,326社
2	三井住友	79,506社
3	みずほ	62,606社
4	りそな	29,691社
5	北洋	24,701社

- 給与振込利用者数

当行給振利用者
78.1万人



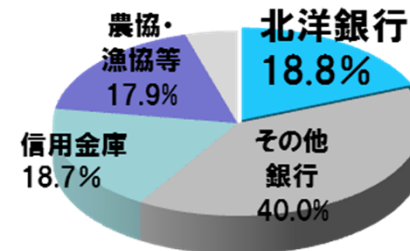
北海道 就業者数(2013年第1四半期)

249万人※

※総務省「労働力調査」

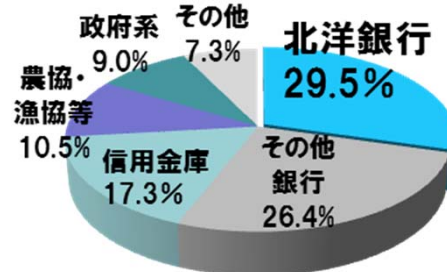
地域シェア

- 道内預金シェア (13.9末)



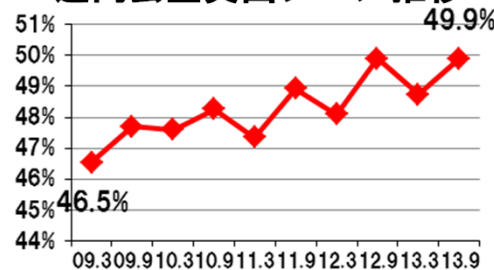
※北海道財務局「北海道金融月報」

- 貸出金シェア (13.9末)



※北海道財務局「北海道金融月報」

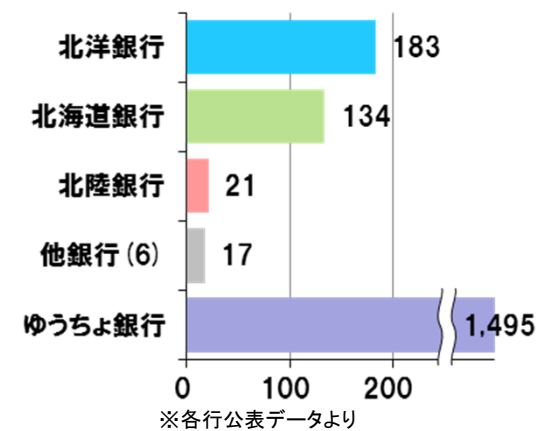
- 道内公金貸出シェア推移



※北海道財務局「北海道金融月報」

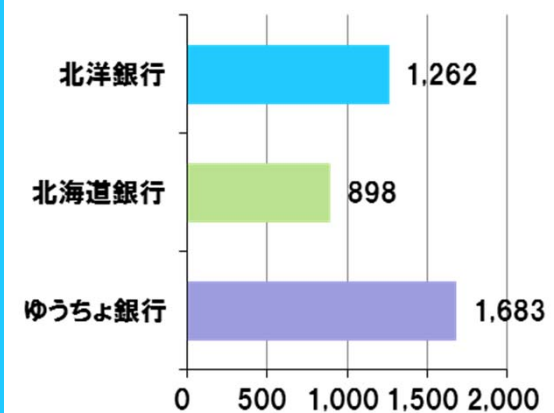
ネットワーク

- 道内店舗数(13.3末)



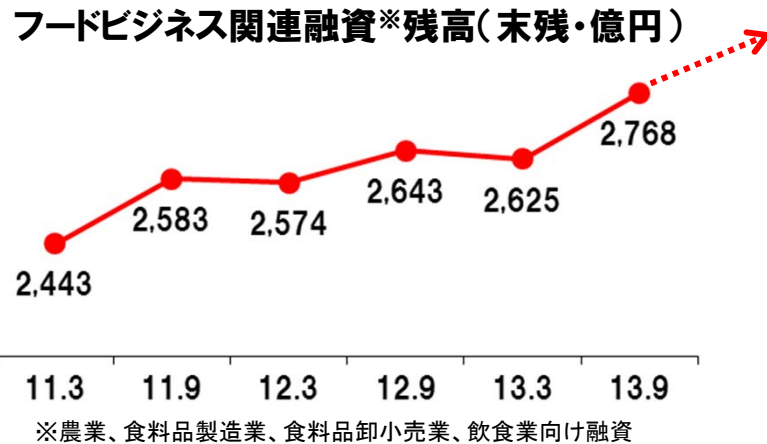
※各行公表データより

- ATM設置数

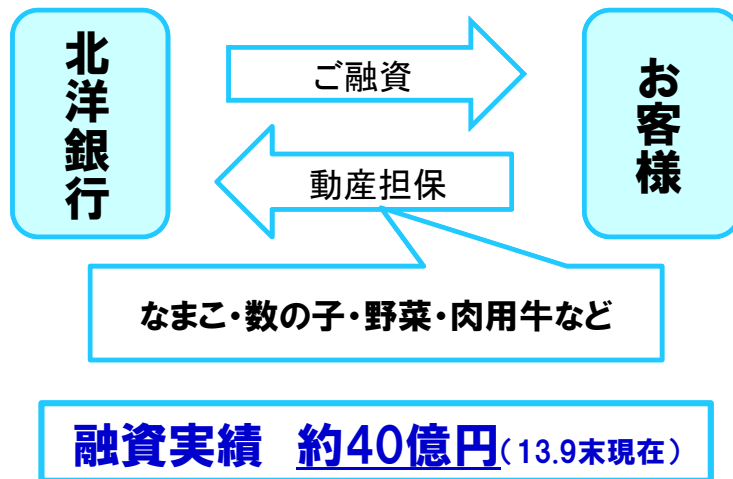


※当行は13.9末、北海道銀行、ゆうちょ銀行は13.3末
各行公表データより

(3) 食と農業



農水産物を担保とする融資 (ABL)



フード特区 (北海道フード・コンプレックス 国際戦略総合特区)

日本で唯一の「食」の国際戦略総合特区

東アジアにおける食産業の研究開発・輸出拠点化を目指す

当行職員を「フード特区機構」に派遣

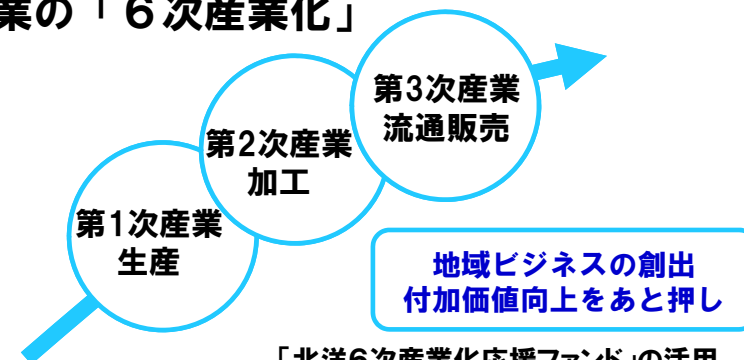


フード特区支援利子補給金を活用した融資

実行	5件	1,018百万円
商材	14件	4,120百万円

※H24/4～H25/9の累計

農業の「6次産業化」



「北洋6次産業化応援ファンド」の活用

(4) 観光

北海道のブランド力

都道府県ランキング

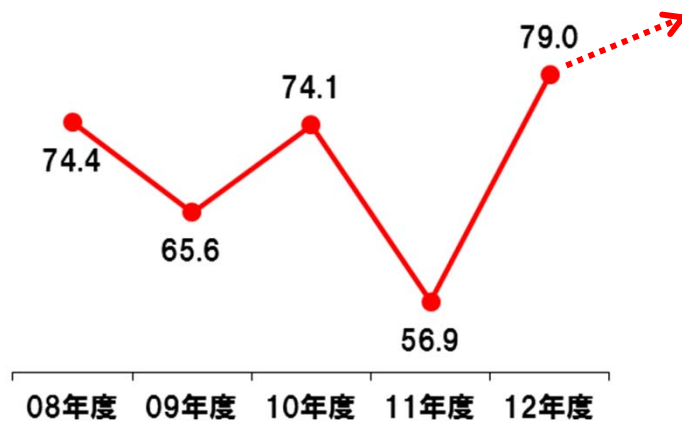
	H21	H22	H23	H24	H25
1位	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道
2位	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府
3位	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県
4位	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都
5位	奈良県	奈良県	奈良県	奈良県	神奈川県

市町村ランキング

1位	函館市	札幌市	札幌市	札幌市	京都市
2位	札幌市	函館市	函館市	京都市	函館市
3位	京都市	京都市	京都市	函館市	札幌市
4位	横浜市	横浜市	横浜市	横浜市	横浜市
5位	神戸市	小樽市	神戸市	神戸市	富良野市

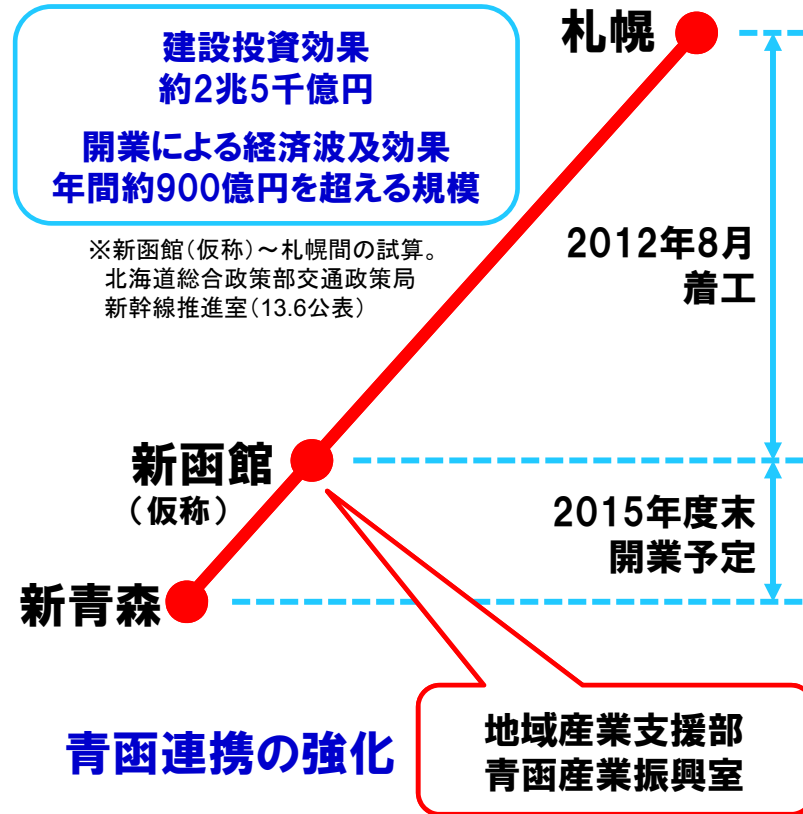
※(株)ブランド総合研究所「地域ブランド調査」

訪日外国人来道者数の推移(万人)



※北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査」

北海道新幹線開業と札幌延伸

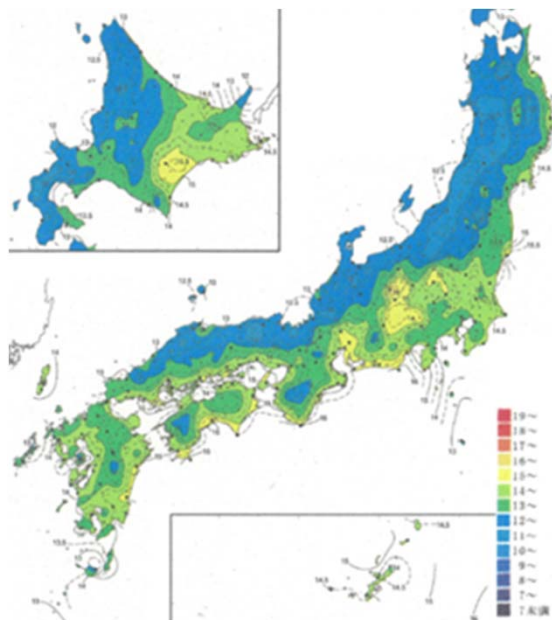


※新函館(仮称)～札幌間の試算。
北海道総合政策部交通政策局
新幹線推進室(13.6公表)

- …青森銀行との提携(H24.12)
- …青森銀行とのATM相互無料開放(H25.4)
- …青森銀行、アークス、新日本スーパーマーケット協会との連携合意(H25.11)

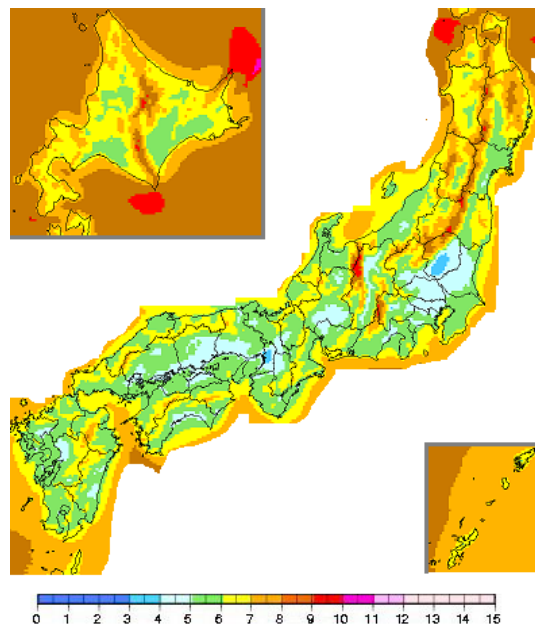
(5) 再生可能エネルギー

日射量マップ



※NEDO「日射量データベース」

風況マップ



※NEDO「風況マップ(18年度改訂版)」

畜産系バイオマス賦存量



※NEDO「バイオマスエネルギー導入ガイドブック(第3版)」

北海道の「再生可能エネルギー基地」としての可能性



ファイナンス面を中心とした支援を推進

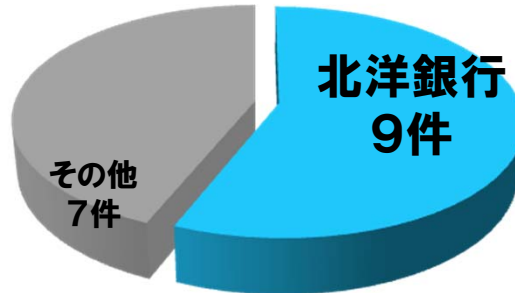
再生エネルギー関連融資実績と商材
(億円)

	融資額	商材
太陽光	49	1,673
風力	10	1,170
地熱	0	2,250
バイオマス	1	675
合計	60	5,768

※平成25年11月26日現在

(6) PFI

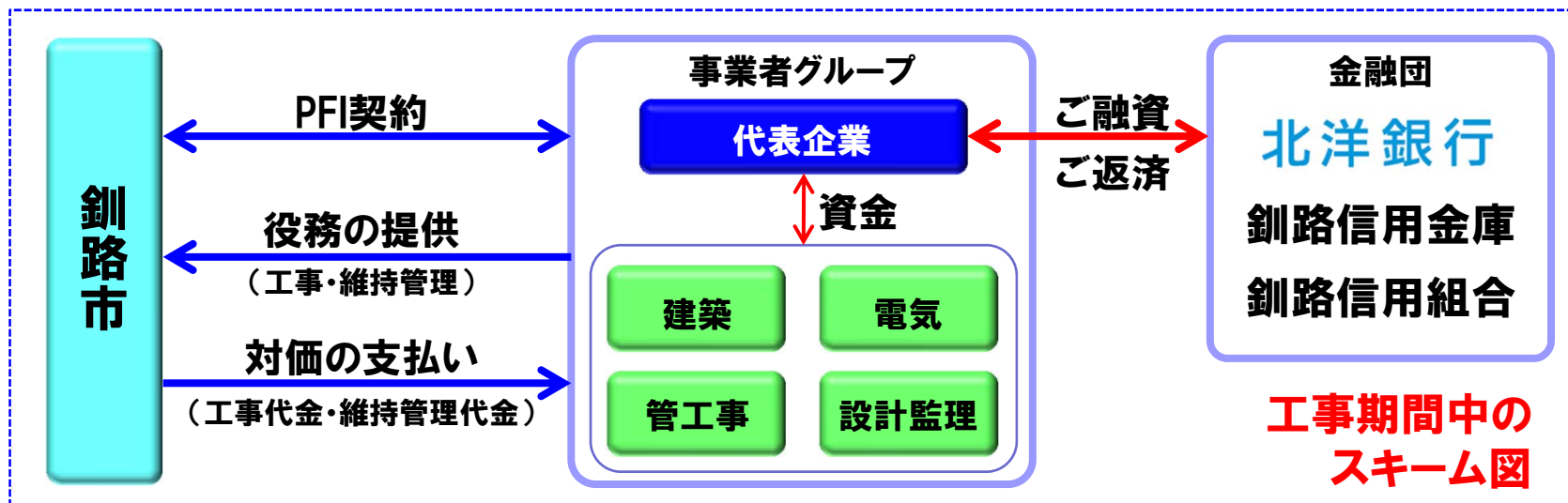
北海道におけるPFI実績



平成24年12月
釧路市立学校施設耐震化PFI事業 (第一期)



地方公共団体等の公共事業に民間資金を活用
↓
少ない財政負担で公共施設整備を実現

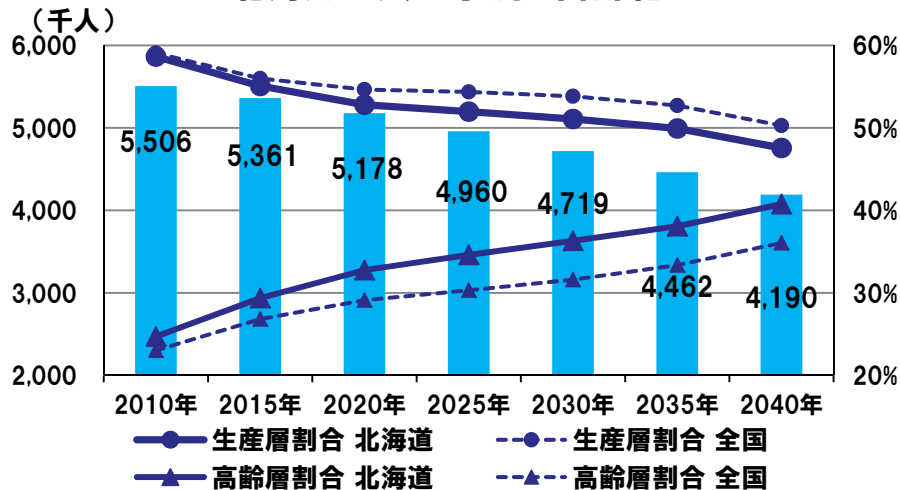


2. 北洋銀行の中長期経営ビジョン ～トップメッセージ～

(7) 個人のお客様へのコンサルティング

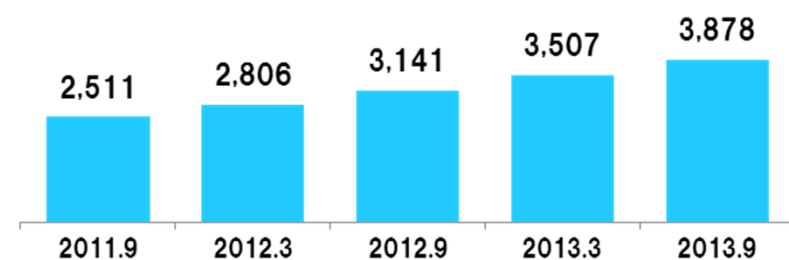


北海道の人口予測と高齢化

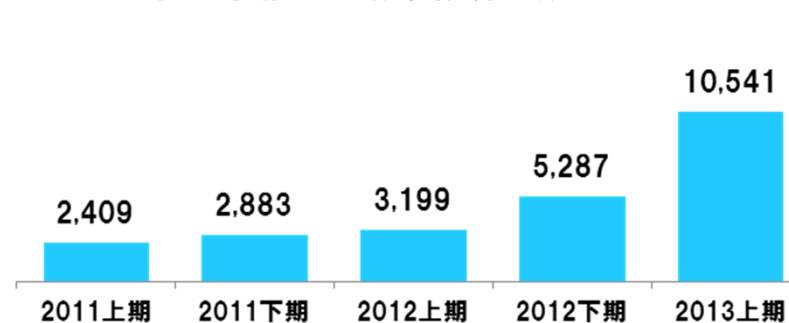


※国立社会保障・人口問題研究所

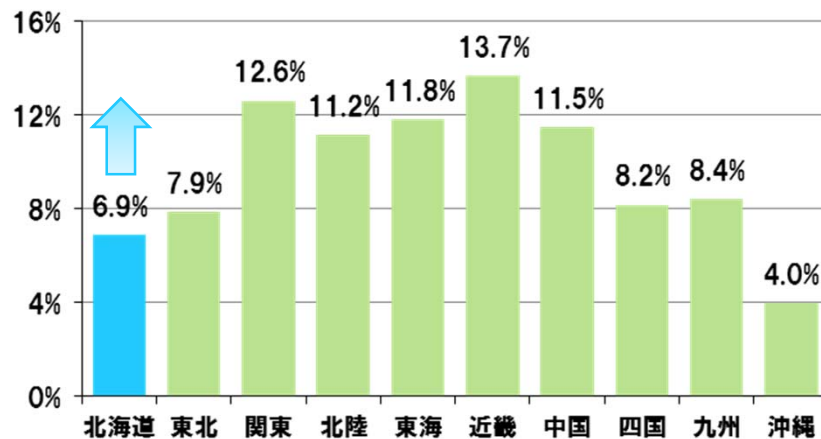
個人年金保険等販売累計額(億円)



事業承継関連融資実行額(百万円)



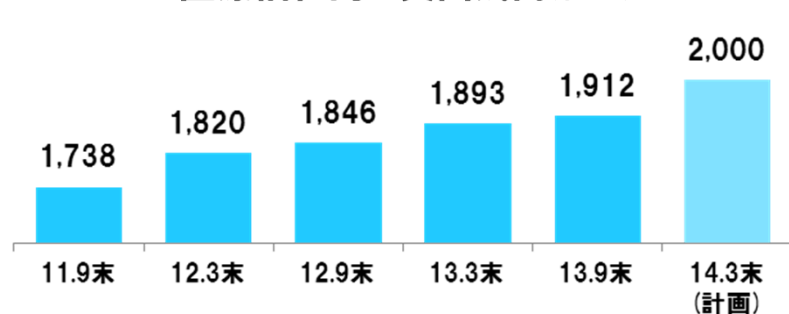
貯蓄に占める「有価証券」の割合



※総務省統計局「家計調査」より北洋銀行作成

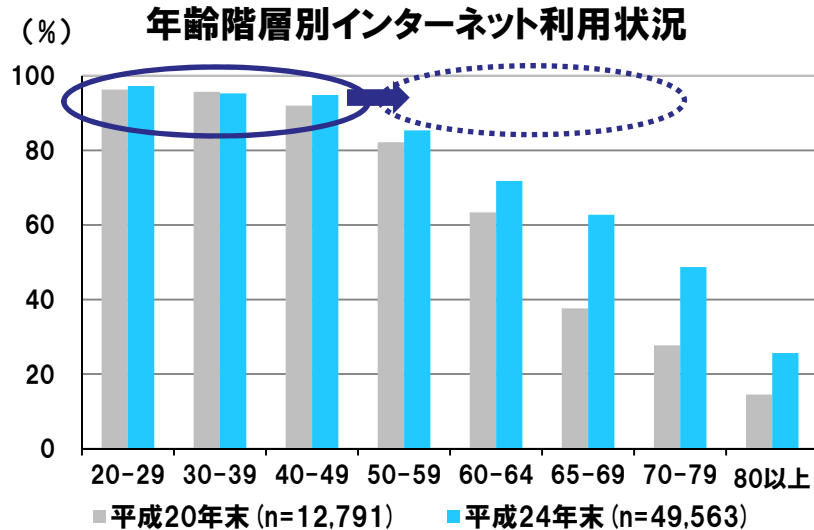
※有価証券＝株式・株式投資信託、貸付信託・金銭信託、債券・公社債投資信託

医療福祉向け貸出残高(億円)



(8) IT化・効率化の推進

ITを活用した顧客サービス向上

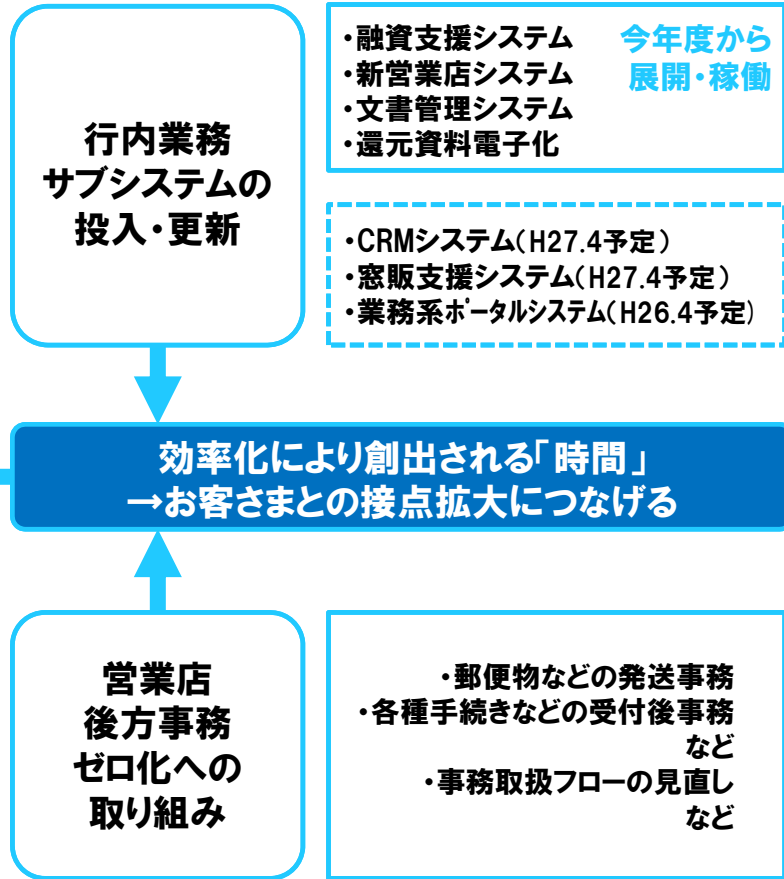


※出所: 総務省「平成24年通信利用動向調査」

インターネットによるお取引範囲の拡大

北洋「投信ダイレクト」開始(2013.10月)
 今後一層、お客様のニーズに合った
 インターネットバンキングの充実を図る

ITを活用した事務効率化



お客さま満足度の向上 → お客さまに選ばれる銀行を目指した取り組みを継続

3. 資本政策

(1) 自己資本の状況、公的資金の返済

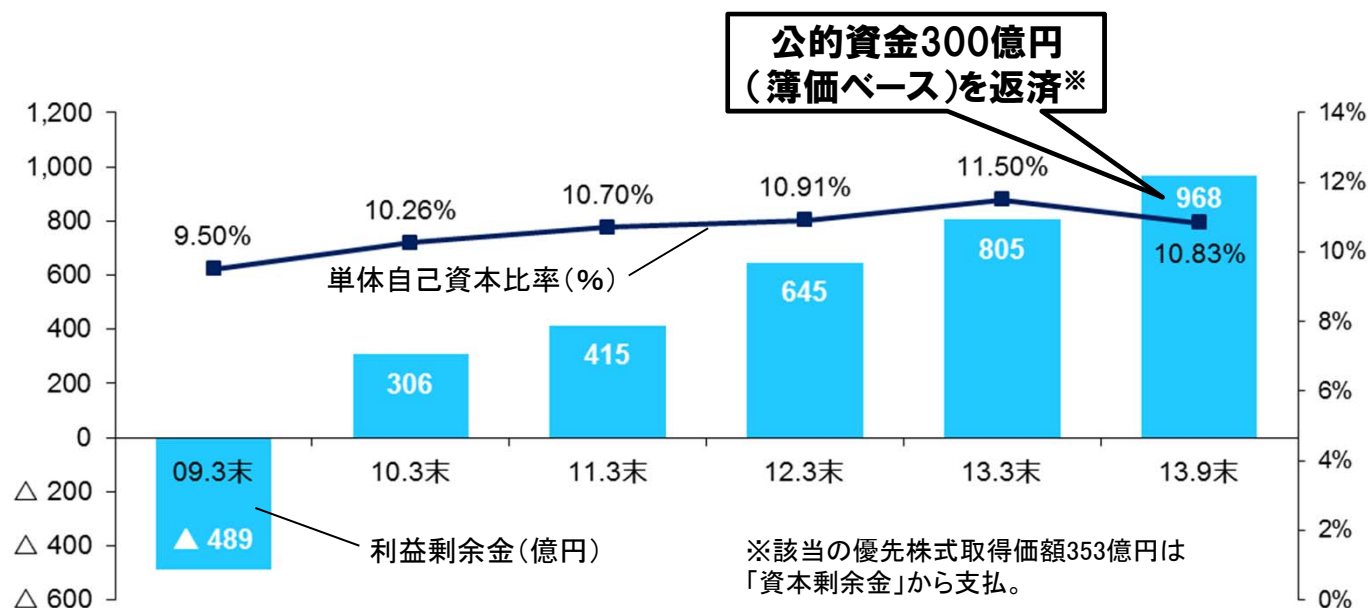


2013年9月末の自己資本比率(単体)は10.83%と、前期比0.67ポイントの低下。

これは2013年7月に公的資金300億円(簿価ベース)を返済したことによるもので、返済後も十分な自己資本水準を維持。

(%、億円)

《北洋銀行》	12.9末	13.3末	13.9末		
				前年比	25.3末比
自己資本比率	11.18	11.50	10.83	△ 0.35	△ 0.67
Tier I 比率	7.88	8.57	8.01	0.13	△ 0.56
自己資本	3,857	4,020	3,790	△ 67	△ 230
Tier I	2,722	2,994	2,803	81	△ 191
Tier II	1,145	1,035	997	△ 148	△ 38
リスクアセット等	34,503	34,933	34,971	468	38



(2) 配当方針

(1) 業績連動配当方針について

普通株主の皆さまに対する利益還元の一層の充実を目指し、札幌北洋ホールディングスにおいて2008年3月期より業績連動配当制度を導入。

【 配当ルール 】

配当金 = 「普通配当金」 + 「業績連動配当金」

1株当たり年10円を予定

通期の連結当期純利益が200億円を上回る場合に、その超過額の30%を目途にお支払いする予定

(2) 2013年3月期期末および2014年3月期の普通株式配当方針

当行は公的資金による国の資本参加を得ており、自己資本の一層の充実による公的資金の早期返済が重要な経営課題となっている。

一方、本年7月に公的資金を一部返済し（簿価ベースで300億円）、公的資金に対する配当負担が年間約4億円減少したことから、これを原資の一部として、普通株主の皆さまへの還元を強化すべく、2014年3月期は2円増配の年間5円配当（中間2.5円・期末2.5円）とする予定。

	2013年3月期			2014年3月期		
	中間	期末	年間	中間	期末(予定)	年間(予定)
配当金 (1株あたり)	1.5円	1.5円	3.0円	2.5円	2.5円	5.0円